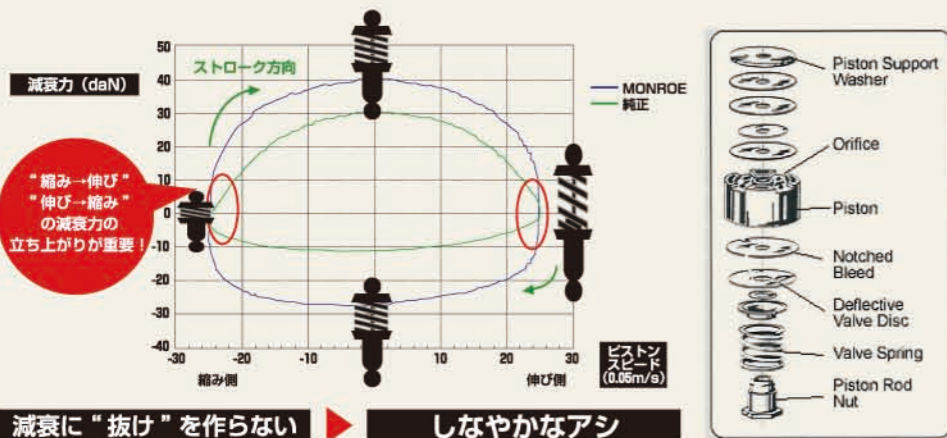


モンローショックアブソーバが乗り心地を改善させるポイント

入力初期の動きを整え、伸び縮みの連続性を保つことで、しなやかな足を作る



乗り心地を改善するためにモンローがこだわっているのが、減衰力特性による入力初期部分。

ショックアブソーバは伸び縮みする際に、ピストン部に設けられた穴を封入されたオイルが行き来する。オイルの流量を変化させることで衝撃を減衰させるのだが、入力初期段階の減衰を制御するのがオリフィスと呼ばれる薄い板(リーフバルブ)。モンローはこのリーフバルブのデザインの保有数が業界最多だといふ。多くのデザインからその車両に最適な形状と枚数を組み合わせることができ、より密な制御を実現。スムーズな減衰力特性を導き出すことができるのだ。

図にショックアブソーバの動き方向が変わる微低速域で伸縮する減衰の立ち上がり(リサージュカーブ)を記した。図はあるモデルの純正とモンローの比較で、純正よりも減衰力の立ち上がりが早く、真円に近い形状をしていることがわかる。自動車のスプリングの動きに対し、遅れることなく応答し、減衰に抜けを作らないことが、“しなやかな足”を作りだし、乗り心地の改善に貢献するのだ。



文=本誌・児嶋 写真=久住伸之 photo by Nobuyuki Kusumi

長年乗ったクルマの足は疲れていて危険。

ショックアブソーバの交換で“快適”を取り戻す!



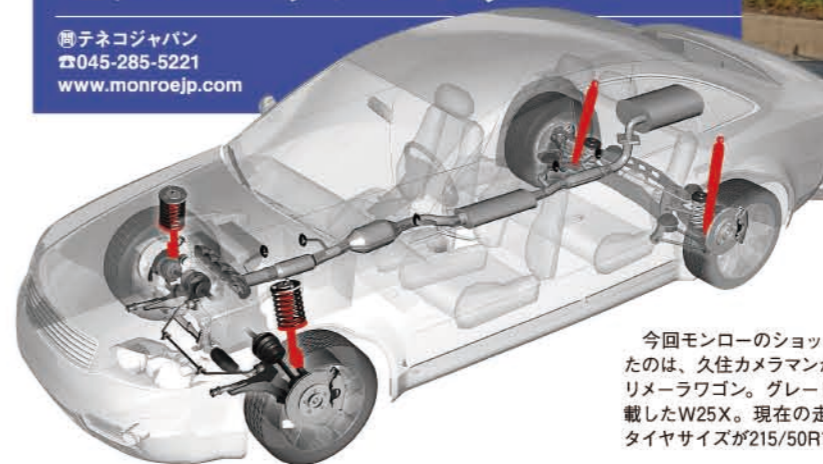
MONROE モンローリフレックス

御テネコジャパン
☎045-285-5221
www.monroejp.com



約5万km走行したプリメーラワゴンに装着してチェック!

今回モンローのショックアブソーバに交換したのは、久住カメラマンが所有する2001年式プリメーラワゴン。グレードは2.5ℓエンジンを搭載したW25X。現在の走行距離は約5万km。タイヤサイズが215/50R17なので、少々硬めな乗り味だったが、最近、路面から伝わる細かな振動や段差などの衝撃の大きさが気になっていたという。タイヤを変えることも検討していたが、まずは“ショックアブソーバの交換でどれだけ効果があるのか”を体感してもらうことにした。



これは車高調などでローダウンしてスポーツ走行やドレスタップをしたいという人に向けた製品ではなく、乗り心地の改善やムダな動きの抑制をしたいという人に向けた補修、あるいは改良・改善を目的とした製品。それもそのはず、モンローは純正ショックのサプライヤーであり、世界中の多くのクルマの“足”を支えている。特に最近では欧州車への採用が多く、コンパクトカーからラグジュアリーカー、スポーツカーまで幅広いクルマにモンローのショックアブソーバが使われているという。品質はもちろん乗り心地についての知見は広く、そのノウハウをアフターパーツにも投入している。

モンローがあらためて車両とのマッチングを評価し、綿密にチューニングして、純正を凌駕する乗り心地を実現する。これには世界初のショックアブソーバメーカーであり、その歴史と経験によるチューニングセッティングが、綿密に車両とのマッチングを評価し、綿密にチューニングして、純正を凌駕する乗り心地を実現する。これには世界初のショックアブソーバメーカーであり、その歴史と経験によるチューニングセッティングが、綿密に車両とのマッチングを評価し、綿密にチューニングして、純正を凌駕する乗り心地を実現する。これには世界初のショックアブソーバメーカーであり、その歴史と経験によるチューニングセッティングが、綿密に車両とのマッチングを評価し、綿密にチューニングして、純正を凌駕する乗り心地を実現する。

入力初期のスムーズな減衰の立ち上がりにこだわったモンローのショックアブソーバの乗り心地が実感できたということになる。久住カメラマンのクルマは約5万kmとまだまだ大丈夫と感じる走行距離だが、登録から12年も経っておりショックのヘタリが出ていてもおかしくない状況だった。それだけに今回の交換は“改善”というメリットが十二分に感じられたことだ。ちなみに今回装着したプリメーラワゴン用「リフレックス」の価格は1台分で7万1400円。交換工賃込みで10万円ほど。1回約4000円のオイル交換を年2回実施することや、タイヤ交換(約1万5000円×4本)と比べると、5年程度までは5万km走行した際にかかるコストはそれほど変わらない。乗り心地が悪くなった、と感じている人は、例えば車検を機に愛車のリフレッシュという意味も込めて、ショックアブソーバの交換をお勧めする。

クルマは走行距離を重ねると、新車のときに感じた快適性が薄れていく。その要因はさまざまなのだが、結論からいって、タイヤやブレーキパッドなど、いわゆる消耗品の交換など、改善策を実施しているはずだ。しかし、ダメージはほかにも現れている。注目したいのがショックアブソーバだ。走行時にタイヤからの衝撃をスプリングが受け止めると同時に、ショックアブソーバが衝撃を緩和(減衰)させる。走行中はつねに仕事をしている部品なのだ。でも、タイヤやブレーキのように減り具合がわかる目安のようなものはない。推奨交換時期がなく、そもそも交換の必要はないと思っている人も多いだろう。しかし、ショックアブソーバの状態は走りにかかりの影響を与える。「走る・曲がる・止まる」という、クルマの基本動作において、タイヤ、ブレーキ、ショックアブソーバの3つがバランスよく保たれることが大切で、ヘタったショックアブソーバではいくらタイヤを新しくしても、その性能は十分に発揮されない。また、発進、減速時や走行中にムダな動きが発生する。最近家族がクルマに酔いやすくなったと感じたり、以前に比べて乗り心地にしまりがなくなった、足がドタバタしてきたと感じたら、ショックアブソーバの交換がお勧めだ。今回紹介するのは、そんな経年車の乗り心地の改善を求めるユーザーに適したモンローのショックアブソーバだ。

ショックアブソーバは消耗品。交換して愛車をリフレッシュ。クルマは走行距離を重ねると、新車のときに感じた快適性が薄れていく。その要因はさまざまなのだが、結論からいって、タイヤやブレーキパッドなど、いわゆる消耗品の交換など、改善策を実施しているはずだ。しかし、ダメージはほかにも現れている。注目したいのがショックアブソーバだ。走行時にタイヤからの衝撃をスプリングが受け止めると同時に、ショックアブソーバが衝撃を緩和(減衰)させる。走行中はつねに仕事をしている部品なのだ。でも、タイヤやブレーキのように減り具合がわかる目安のようなものはない。推奨交換時期がなく、そもそも交換の必要はないと思っている人も多いだろう。しかし、ショックアブソーバの状態は走りにかかりの影響を与える。「走る・曲がる・止まる」という、クルマの基本動作において、タイヤ、ブレーキ、ショックアブソーバの3つがバランスよく保たれることが大切で、ヘタったショックアブソーバではいくらタイヤを新しくしても、その性能は十分に発揮されない。また、発進、減速時や走行中にムダな動きが発生する。最近家族がクルマに酔いやすくなったと感じたり、以前に比べて乗り心地にしまりがなくなった、足がドタバタしてきたと感じたら、ショックアブソーバの交換がお勧めだ。今回紹介するのは、そんな経年車の乗り心地の改善を求めるユーザーに適したモンローのショックアブソーバだ。



ゴツゴツとした振動がなくなった

モンローのショックアブソーバ「リフレックス」は、微低速ピストンスピードをツインディスク機構によりコントロール。減衰力を高めたセッティングでありながら、動き始めから理想的な減衰力を発揮。走行性能の向上としなやかな乗り心地を両立する。久住カメラマンはこのリフレックスを装着した愛車に乗り込み、走り始めてまもなく、「細かい振動がなくなったね」と、路面から拾う細かな振動がなくなったことをすぐに感じていた。さらに高速道路を走行すると、「高架部の継ぎ目や段差での突き上げがマイルドになった」、「コンフォートなタイヤに履き替えたよう」と、交換したことによるリフレッシュ効果とモンローのこだわりのしなやかになった“足”を存分に実感。「これは満足度高いね」とインプレッションの最後に付け加えた。

取付協力 上嶋自動車
営業時間: 9時~18時 定休日: 日曜日、月曜日
☎03-5607-0450
住所: 東京都江戸川区松本2-8-17

今回ショックアブソーバの交換装着してもらった上嶋自動車は、おもに板金塗装を行う自動車工場。ほかにも事故の修理も対応可能で、メルセデス・ベンツの純正機器指定を受けるCELETTE社製のジグ式修正機を使った精度の高いボディ修正を行う。さらにロールバーの取り付けやスポット増しボディ補強などのボディチューニング、FRPやカーボンなどのエアロパーツの取り付け、加工、補修などカスタマイズやチューニングなど幅広く対応してくれる。